

平成 29 年 4 月 24 日

鹿児島県教育委員会 教育長
各 教 育 事 務 所 長
鹿児島県総合教育センター 所長 殿
各市町村教育委員会 教育長
各 学 校 長

鹿児島大学教育学部附属中学校
校 長 山 口 武 志

鹿児島大学教育学部附属中学校 平成29年度研究公開の御案内(第2次)

春光うらかな季節になりました。皆様におかれましてはますます御清栄のことと拝察いたします。

さて、本校では、平成 24 年度から、研究主題を「自らよりよい未来を創る生徒の育成」と掲げ、研究・実践に取り組んでまいりました。これまで、各方面から貴重な御指導、御助言をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

昨年度から本年度にかけては、研究の 5 年次として、「『創造的な学び』を展開する指導と評価の在り方Ⅱ」を副主題とし、教育活動の中でも特に道徳と特別活動(学級活動)における指導計画の工夫・改善や授業づくりに努めてまいりました。

そこで、ささやかではありますが、その研究の成果を発表いたします。御多用のこととは存じますが、多数の皆様の御参加をいただき、御指導を賜りたく御案内申し上げます。

研究主題

自らよりよい未来を創る生徒の育成 (5 年次) ～「創造的な学び」を展開する指導と評価の在り方Ⅱ～

- 期 日 平成 29 年 5 月 26 日 (金)
- 会 場 鹿児島大学教育学部附属中学校
〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 20 番 35 号
電話 099-285-7932 FAX 099-285-7950
ホームページ <http://www.edu.kagoshima-u.ac.jp/jhschool/>

- 主 催 鹿児島大学教育学部附属中学校
- 後 援 鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会



研究公開要項

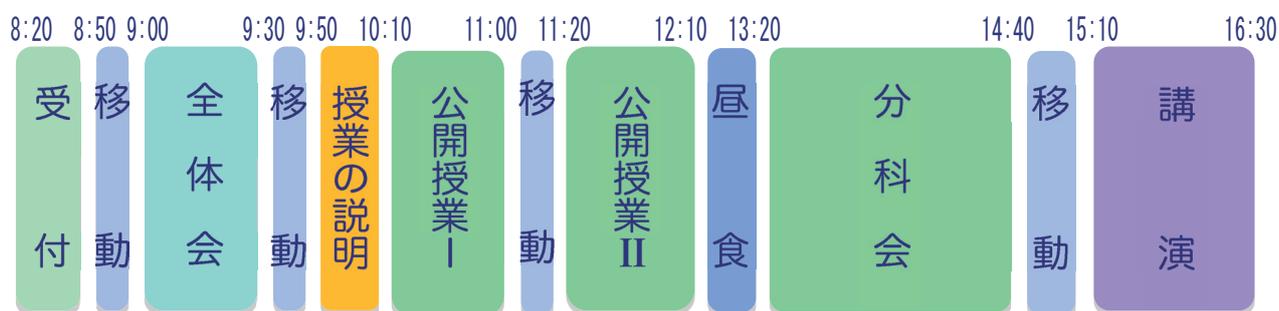
● 研究主題 自らよりよい未来を創る生徒の育成

● 期 日 平成 29 年 5 月 26 日 (金)

● 会 場 鹿児島大学教育学部附属中学校
〒890-0065
鹿児島市郡元一丁目 20 番 35 号
電話 099-285-7932 FAX 099-285-7950



● 日 程



● 全体会 [9 : 00~9 : 30] 【会場 附属中学校体育館】

● 授業の説明 [9 : 50~10 : 10]

● 公開授業Ⅰ [10 : 10~11 : 00]

授 業	学 級	題 材	授 業 者
道 徳	2年1組	僕のたびだち	山 口 隼 人
道 徳	3年3組	一枚のはがき	前之園 礼 央
学級活動	1年1組	一人一人が居心地のよい学級をつくろう	入 江 将 紀
一 般 授 業	国語	学びをつなげる授業 友情論を書こう	伊 藤 彰 郎
	数学	データの活用	竹 下 洋 一
	理科	動物の生活と生物の変遷	中 園 透

公開授業Ⅱ〔11：20～12：10〕

授 業	学 級	題 材	授 業 者	
道 徳	1年3組	ライオンと子犬	榊 隼 弥	
学級活動	2年2組	学級の諸問題を解決しよう	川 上 慎一郎	
学級活動	3年1組	学習の悩みや不安を解決しよう	眞 邊 剛	
一 般 授 業	社 会	3年2組	現代の日本と世界	佐 伯 暁 仁
	英 語	3年4組	Pop Culture Then and Now	池 田 深 索
	保健体育	2年3組	陸上競技「ハードル走」	大 井 幸 乃

昼 食〔12：10～13：20〕

分科会（研究発表・授業研究）〔13：20～14：40〕

	分科会 協議題	授 業 学 級 授 業 者	指 導 助 言 者		司 会 者
			教育委員会	鹿児島大学	
道 徳	創造的な学びを 展開する道徳の 指導と評価	1年3組 榊 隼 弥	県総合教育センター 橋 口 俊 一	島 義 弘	喜入中学校 山 下 慎 悟
		2年1組 山 口 隼 人	県教育庁 宮 内 隆 靖	杉 原 薫	桜丘中学校 中 村 崇
		3年3組 前之園 礼 央	鹿児島市教育委員会 吉 留 雅 樹	有 倉 巳 幸	天保山中学校 岩 元 光 博
特 別 活 動	創造的な学びを 展開する特別活 動の指導と評価	1年1組 入 江 将 紀	県教育庁 前 保 廣	平 野 拓 朗	谷山中学校 前 野 翔太郎
		2年2組 川 上 慎一郎	鹿児島市教育委員会 今 井 誠	廣 瀬 真 琴	伊集院北中学校 前 園 奈津子
		3年1組 眞 邊 剛	県総合教育センター 大 園 克 臣	久保田 治 助	松元中学校 柿 元 慶 子

講 演〔15：10～16：30〕【会場 附属小学校体育館】

演 題 「豊かな人間性を育む道徳，特別活動の在り方」
 講 師 帝京大学 大学院 教職研究科 教授
 赤堀 博行 先生（前国立教育政策研究所 教育課程調査官）

● 「自らよりよい未来を創る生徒の育成」の研究冊子の御紹介

【4年目冊子】

- ・ 昨年度、「創造的な学び」を展開する指導と評価の在り方についての研究を行いました。生徒の「能動性」や「独自性」を発揮させるための手立てや、評価の基準となるICEモデルを用いたルーブリックの在り方についてまとめてあります。平成24年度から行っている、「創造的に考える力や考えようとする態度」を高める研究の4年次の冊子で、各教科で実践を行ってきた指導案も多数掲載されています。



※ 本年度、昨年度の2冊セットの頒布価格 2,000 円

● 会場案内

- ・ 鹿児島中央駅から、電車で10分(純心学園前下車, 徒歩2分)。
- ・ 本校には駐車できません。車でお越しの場合は、最寄りの駐車場を御利用ください。



● 参加方法・冊子代・昼食

研究公開への参加については、事前に申し込む必要はありません。当日の朝、受付場所で申し受けます。なお、研究冊子（指導案を含む）を1,500円で頒布いたします。また、昼食（弁当）は600円で販売いたしております。当日の朝に、昼食販売専用の受付を準備しておりますのでお申し込みください。